

#### ■英国：ロンドン近郊において大規模油田の存在が判明

英国で石油・天然ガス掘削事業を手掛ける UK Oil and Gas Investments (UKOG) 社は 2015 年 4 月 9 日、ロンドン近郊のガトウィック空港近くに位置するホースヒルにおいて、推定埋蔵量 1,000 億バレルの大規模油田を発見したと発表した。これは、英国の北海油田において過去 40 年間に採掘された量（450 億バレル）の 2 倍以上に相当する。現時点で採掘可能とされるのは全量の 5～15%程度であるが、これは、2030 年までの英国の石油需要の 10～30%に相当する。UKOG 社 CEO のサンダーソン氏は、「英国の過去 30 年間ににおいて、おそらく最大の発見であり、国家的に重要な意味を持つ」と述べる。なお、同社は、油田を覆う岩盤に自然な状態で断口（鉱物の割れ目）が存在するとして、掘削には、環境への影響が懸念されるフラッキング（水圧破碎）を用いない姿勢である。